

みずほCustomer Desk Report 2017/05/15 号(As of 2017/05/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.96 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.84	1.0864	123.64	1.0078	1.2886	0.7377
SYD-NY High	113.95	1.0935	123.95	1.0085	1.2900	0.7421
SYD-NY Low	113.20	1.0855	123.32	0.9988	1.2844	0.7369
NY 5:00 PM	113.37	1.0934	123.90	1.0015	1.2886	0.7385
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.735/8.06		△25RR	0.498	Yen Call Over	
NY DOW	20,896.61	▲22.81	債券市場	日本2年債	-0.1720	0.4bp
NASDAQ	6,121.23	5.27		日本10年債	0.0470	▲0.7bp
S&P	2,390.90	▲3.54		米国2年債	1.2904	▲4.4bp
日経平均	19,883.90	▲77.65		米国5年債	1.8468	▲6.8bp
TOPIX	1,580.71	▲6.15		米国10年債	2.3257	▲6.2bp
シカゴ日経先物	19,820.00	▲55.00		独10年債	0.3910	▲4.1bp
ロンドンFT	7,435.39	48.76	為替市況	英10年債	1.0860	▲7.3bp
DAX	12,770.41	59.35		豪10年債	2.6350	▲1.6bp
ハンセン指数	25,156.34	30.79		USD/CNH	6.8987	▲0.0053
上海総合	3,083.51	22.01	商品市況	ドルインデックス	99.25	▲0.37
USDJPY 3M Vol	8.46	▲0.16%		CRB指数	181.691	1.25
USDJPY 6M Vol	8.96	▲0.02%		NY金	1,227.70	3.50
EURJPY 3M Vol	8.87	▲0.20%		WTI	47.84	0.01
EURJPY 6M Vol	9.37	▲0.08%		Dubai Spot	49.50	▲0.19

東京	東京時間のドル円は113.84レベルでオープン。仲値にかけてドル買い優勢の流れとなり、一時東京時間高値となる113.95まで上昇。しかし、さらなる上値追いの展開とはならず、114円近辺での上値の重さが意識されると113.70近辺まで反落した。午後に入り、特段目新しい材料がない中でドル円は113.70近辺での揉み合い推移となり、113.68レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロは1.0864レベルで東京時間オープン。こもと1.0850-60近辺では底堅さが見られていることから小幅に上昇するも、海外時間に予定されている米国の重要指標の発表を控え動意に乏しい展開。東京時間引けにかけて独1-3月期GDP・速報値(前期比)が発表されるも、実績+0.6%(予想+0.6%)が市場予想通りの結果にマーケットの反応は限定的。1.0871レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は小動き。113.68レベルでオープン後、新規材料難から113円台後半で様子見ムードとなり、113.86レベルでニューヨークへ渡った。ポントドルは小幅に下落する展開。1.2888レベルでオープン後、前日のBoE四半期インフレポートにてBrexit 決定を受けGDP見直しは2017年2.0%→1.9%。インフレ予想は2018年、19年2.8%→2.6%、2.5%→2.2%へ引き下げられ、また政策金利が7:1で据え置かれた(市場一部の予想は6:2)ことを受け、ポントドルは売り優勢の展開となり、1.2855レベルでニューヨークへ渡った。(00531 444 179 西海)
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.86レベルでオープン。朝方発表された米4月小売売上高、米4月コアCPIが市場予想を下回ったことから、米金利低下とともにドル売りが強まり、ドル円は113.35まで下落。その後発表された米5月シカゴ大学消費者マインド(速報値)は市場予想を上回ったもの、市場への影響は限定的となった。その後行われたエバンス・シカゴ連銀総裁(2017年投票権あり)の講演で「インフレ見通しが不透明なら年内あと1回の利上げでも構わない」とのハ派な発言が伝わると米金利が一段と低下、ドル円は安値となる113.20まで下落。午後に入り、ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁(2017年投票権あり)の「年内は引き続き残り2回の利上げを支持する」との発言が伝わるとドル円は113.40付近まで値を戻すが、週末にG7財務相会合を控えて113円前半で動意に欠ける推移が続き、113.37レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.0871レベルでNYオープン。朝方の弱い米経済指標を受けてドル売りが強まるとユーロドルは1.0935まで上昇。その後は新規材料に欠く中で1.09台前半でレンジ推移となり、1.0934レベルでクロスした。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月12日	15:00	独 GDP・速報(前月比/前年比)	1Q 0.6%/1.7%	0.6%/1.7%
	15:00	独 CPI・確報(前月比/前年比)	4月 0.0%/2.0%	0.0%/2.0%
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	3月 -0.1%/1.9%	0.3%/2.3%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	4月 0.2%/2.2%	0.2%/2.3%
	21:30	米 CPI・コア(前月比/前年比)	4月 0.1%/1.9%	0.2%/2.0%
	21:30	米 小売売上高(前月比)	4月 0.4%	0.6%
	22:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	5月 97.7	97.0
5月13日	1:30	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-

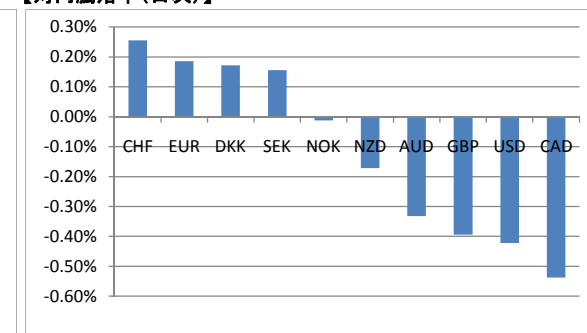
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月15日	11:00	中 小売売上高(前年比)	4月 10.8%	10.9%
	11:00	中 固定資産投資(前年比)	4月 9.1%	9.2%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	4月 7.0%	7.6%
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	5月 7.3	5.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.50-113.50	1.0850-1.0950	123.00-124.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日海外時間のドル円は軟調推移となった。発表された米経済指標が予想を下回ったことや、エバンス・シカゴ連銀総裁のハ派的な発言が米金利を低下させ、ドル円の重石となった。本日のドル円は弱含みに推移することを予想。上記材料が引き続きドル円の上値を抑えるほか、週末には北朝鮮がミサイル発射を行っており、再び地政学リスクが意識されるだろう。北朝鮮情勢を巡っては、実際に米国等が北朝鮮に対して軍事行動をとれば、周辺国としての日本が意識されて円が売られるとの声もあるが、少なくとも軍事行動をとるまでは「地政学リスクの高まり⇒リスクセンチメント後退⇒円買い」という過去の動きを模する展開になると考える。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。